

安田一郎教授略歴・主要業績

略 歴

- 大正十一年九月二七日 東京・入谷（現東京都台東区下谷一丁目）に生まれる。
- 昭和十六年四月 東京外国語学校英語部（現東京外国語大学英米科）入学
- 昭和十九年九月 東京外国語学校英語部（現東京外国語大学英米科）卒業
- 昭和二十二年四月 埼玉県嘱託 經濟部賠償課（昭和二十四年二月まで）
- 昭和二十四年三月 埼玉地方経済調査庁経済調査官（昭和二十七年六月まで）
- 昭和二十七年七月 埼玉県地方行政視察局総理府事務官（昭和二十七年八月まで）
- 昭和二十七年九月 埼玉大学教育学部附属中学校 文部教官（昭和三十九年三月まで）
- 昭和三十七年九月 東京教育大学指導主事課程入学
- 昭和三十七年二月 東京教育大学指導主事課程修了
- 昭和三十八年四月 成城大学短期大学教養科兼任講師（英語・英語学担当）（昭和三十九年三月まで）
- 昭和三十八年九月 フルブライト留学英語教員米国ミシガン大学教授法研修課程入学
- 昭和三十九年二月 フルブライト留学英語教員米国ミシガン大学教授法研修課程修了
- 昭和三十九年四月 成城大学短期大学部教養科講師（英語・英語学担当）（昭和四十二年三月まで）

昭和四〇年 四月

NHK英語講座「続基礎英語」担当講師（昭和五五年三月まで）

昭和四二年 四月

成城大学短期大学部教養科助教（英語・英語学・英語教科教育法担当）（昭和五一年三月まで）

昭和四三年 四月

中央大学理工学部兼任講師（英語講読担当）（昭和四五年三月まで）

昭和四四年 四月

大学英語教育学会（至る現在・評議員）

昭和四六年 四月

日本言語学会会員（平成二年三月まで）

昭和五一年 四月

成城大学短期大学部教養科教授（英語・英語学担当）（昭和五二年三月まで）

昭和五二年 四月

成城大学法学部法律学科教授（英語言語学・英語演習・英語講読・地域研究「アメリカ」担当）（平成二年三月まで）

昭和五二年 四月

東京外国語大学外国語学部兼任講師（英語科教育法担当）（昭和五五年三月まで）

昭和五二年 四月

日本時事英語学会（至る現在・評議員）

昭和五三年一〇月

成城大学大学評議員（平成二年三月まで）

昭和五八年 四月

成城大学図書館長（昭和六二年三月まで）

昭和五八年 四月

日本英語表現学会（至る現在・理事）

昭和六一年 四月

財団法人・語学研究所（至る現在・評議員）

平成二年 三月

成城大学定年退職

平成二年 四月

成城大学名誉教授

平成二年 四月

調布学園女子短期大学教授（一般英語担当）

主要業績

I 著 書

- (1) 『英語の文型と運用』(単著、昭和三六年四月、平明社)
- (2) 『英語教授法辞典』(共著、昭和三九年四月、三省堂)
- (3) 『英語の文法』(英語ライブラリー 第四卷)(単著、昭和四一年四月、岩崎書店)
- (4) Living English Course (共著、昭和四二年一〇月、日本リーダーズ・ダイジェスト社)
- (5) 『英語の文型と文法』(単著、昭和四五年四月、日本放送出版協会)
- (6) Webster's Essential English Dictionary (共著、昭和四七年四月、エンサイクロペディア ブリタニカ社)
- (7) 『発想別英語会話教授法』(共著、昭和四八年二月、日本放送出版協会)
- (8) NHK 『統基礎英語』(単著、昭和四九年二月、NHKサービス・センター)
- (9) 『英語とはなんだろう』(単著、昭和五一年七月、日本放送出版協会)
- (10) 『英語教授法辞典』(新版)(共著、昭和五七年三月、三省堂)
- (11) The New Century I (共著、昭和五七年三月、三省堂)
- (12) The New Century II (共著、昭和五八年三月、三省堂)
- (13) 『アメリカ口語辞典』(共著、昭和五八年四月、朝日出版社)

II 学術論文

- (1) D. T. Langendoen : *Essentials of English Grammar*, 1970 (単著、昭和四十六年二月、三省堂英語教育)
- (2) *Applied Linguistics* の位相差に関する考察—Language Learning 誌における変形理論の取扱いについて— (単著、昭和四十六年十二月、成城短期大学部紀要 第三号)
- (3) Wilga M. Rivers : *Teaching Foreign Language Skills*, 1968 (単著、東京外国語大学外国語教授法研究誌 第七号)
- (4) 英語教育と言語学理論の接点を求めて—文型分類の再評価— (単著、昭和五〇年一〇月、大学英语教育学会 (JACET) 紀要 第六号) (昭和五一年九月、開拓社、語学教育研究所編「英語教育年鑑 一九七六年度版」に年度代表論文として再録)
- (5) 英語教授法における構造主義理論の限界 (単著、昭和五〇年一月、東京都私立短期大学協会委託研究等研究紀要 第一二号)
- (6) 英語教育と言語学理論の乖離性について (単著、昭和五一年三月、成城大学短期大学部紀要 第七号)
- (7) 英語教育の指向性(一) (単著、昭和五四年七月、成城大学法学部「成城法学・教養論集」 第一号)
- (8) 英語教育の指向性(二) (単著、昭和五九年三月、成城大学法学部「成城法学・教養論集」 第四号)
- (9) 「言語活動」の再検討 (単著、昭和五九年一月、日本英語表現学校会紀要「英語表現研究」 創刊号)

III その他

- (1) 英語を通して見た日本人の国際感覚 (昭和五六年一月、成城大学公開講座(四)「世界の中の日本」)